

『自警』発行表（戦前期）（四訂稿）

（令和 4（2022）年 8 月 16 日（火）現在）

〔目 次〕

（補正経緯）	1
〔凡 例〕	1
〔参考〕関連 HP	2
1 『自警』発行表（戦前期）	2
【参考】『自警』発行表（戦後期）	7
2 参考資料	8
【附録】明治警察史コーナーHP 項目一覧（抄）	10
【関連事項】	12

（補正経緯）

HP 初出：平成 22（2010）年 4 月 17 日（土）初稿作成
平成 22（2010）年 4 月 24 日（土）改訂稿作成
（「【附録】『自警』（戦後期）」を追加、その他一部修正。）
平成 26（2014）年 6 月 22 日（日）再訂稿作成
（一部補正、追加）
平成 27（2015）年 6 月 7 日（土）三訂稿作成
（『自警』第 20 巻第 8 号（創刊二十年記念、昭和 13 年 8 月 1 日刊）により一部補正）
令和 4（2022）年 8 月 16 日（火）四訂稿作成
（レイアウトを全面変更し、一部補正追加した。）

〔凡 例〕

- ・『自警』は、警視庁内（財団法人⇒一般財団法人）自警会発行の警察機関雑誌。
- ・明治 40（1907）年 6 月警視庁奨武会創設、大正 8（1919）年 8 月奨武会解散、警視庁自警会創設（大正 9 年 4 月財団法人自警会に）、『自警』創刊、大正 8（1919）年 8 月 15 日創刊号発行（『自警』昭和 4 年 8 月十周年記念号に關係記事ありとの由（未見）。『自警』第 20 巻第 8 号（創刊二十年記念、昭和 13 年 8 月 1 日刊）参照。）。
- ・富益義衛（? ～?）「最後の編輯を終りて」第 18 巻第 205 号（昭和 11 年 9 月号、9 月 10 日刊）142、143 頁参照（自警会の組織改革により、『自警』主幹（創刊号以来の編輯兼発行人）富益義衛退職。富益義衛の写真：例えば、『自警』第 17 巻第 194 号（昭和 10 年 10 月 10 日刊）135、149 頁参照。）。
- ・神山和市（主計係長、? ～?）「自警会事業の概要」『自警』第 20 巻第 1 号（通巻第 221

号、昭和 13 年 1 月 1 日刊) 128～140 頁 (128 頁: 「1、『自警』雑誌発行の動機」) 参照
・『自警』戦後分については、一部分を、「1 『自警』発行表 (戦前期)」の附録として付した。(平成 22 年 4 月 24 日追加)

〔参考〕関連 HP

・本 HP 「法制史学者著作目録選」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Historian2003.htm>〉 (平成 27 年 6 月 7 日追加)

・本 HP 別稿「警察雑誌検討一斑―戦前期警察史の一齣―」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keisatsuzasshi.pdf>〉 (平成 26 年 6 月 22 日追加)

・本 HP 別稿「植木鬼仏とは誰ぞ―警察川柳史検討― 昭和戦前期警察史の一齣―」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/ueki001.pdf>〉 (平成 26 年 6 月 22 日追加)

・本 HP 別稿「有光金兵衛とは誰ぞ―「田村豊氏著作目録」補遺―」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/arimitsu.pdf>〉 (平成 26 年 6 月 22 日追加) ⇒
(下記平成 27 年 6 月 7 日追加) 有光金兵衛 (当時特高課員) は『自警』創刊時の雑誌部委員の一人。

・本 HP 別稿「『警察協会雑誌』発行表」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keikyoasshi.pdf>〉 (平成 26 年 6 月 22 日追加)

1 『自警』発行表 (戦前期)

＊大正 8 (1919) 年 第 1 卷 (未調査)

・創刊号 (大正 8 年 8 月 15 日刊) (戦後 平成元 (1989) 年 7 月に復刻版あり。)

＊大正 9 (1920) 年 第 2 卷 (未調査)

・第 2 卷第 13 号は 1 周年記念号との由 (未確認)

＊大正 10 (1921) 年 第 3 卷 (未調査)

＊大正 11 (1922) 年 第 4 卷

(参考)「富益蔵書」なる印字存在の製本本に拠る。当時の編輯兼発行人 富益義衛氏旧蔵のものか。

・第 4 卷第 30 号 (大正 11 年 1 月号、1 月 1 日刊)、第 31 号 (2 月号、2 月 10 日刊)、第 32 号 (3 月号、3 月 10 日刊)、第 33 号 (4 月号、4 月 10 日刊)、第 34 号 (5 月号、5 月 10 日刊。同号附録: 『警視庁職員録』)、第 35 号 (6 月号、6 月 10 日刊)、第 36 号 (7 月号、7 月 10 日刊)、第 37 号 (8 月号、8 月 10 日刊)、第 38 号 (9 月号、9 月 10 日刊)、第 39 号 (10 月号、10 月 10 日刊)、第 40 号 (11 月号、11 月 10 日刊)、第 41 号 (12 月号、12 月 10 日刊)

*大正 12 (1923) 年 第 5 卷 (未調査)
*大正 13 (1924) 年 第 6 卷 (未調査)
*大正 14 (1925) 年 第 7 卷 (未調査)
*大正 15 / 昭和元 (1926) 年 第 8 卷 (未調査)
*昭和 2 (1927) 年 第 9 卷 (未調査)
*昭和 3 (1928) 年 第 10 卷 (未調査)
*昭和 4 (1929) 年 第 11 卷 (未調査)

*昭和 5 (1930) 年 第 12 卷 (以下 A 本に拠る。要再調査)

・第 12 巻第 125 号 (昭和 5 年 1 月号、1 月 1 日刊)、第 126 号 (2 月号、2 月 10 日刊)、
第 127 号 (3 月号、3 月 10 日刊)、第 128 号 (4 月号、4 月 10 日刊)、第 129 号 (5 月号、
5 月 10 日刊)、第 130 号 (6 月号、6 月 10 日刊)、第 131 号 (7 月号、7 月 10 日刊)、第
132 号 (8 月号、8 月 10 日刊)、第 133 号 (9 月号、9 月 10 日刊)、第 134 号 (10 月号、
10 月 10 日刊)、第 135 号 (11 月号、11 月 10 日刊)、第 136 号 (12 月号、12 月 10 日刊)

*昭和 6 (1931) 年 第 13 卷 (要再調査)

・第 13 巻第 137 号 (昭和 6 年 1 月号、1 月 1 日刊)、第 138 号 (2 月号、2 月 10 日刊)、
第 139 号 (3 月号、3 月 10 日刊)、第 140 号 (4 月号、4 月 10 日刊)、第 141 号 (5 月号、
5 月 10 日刊)、第 142 号 (6 月号、6 月 10 日刊)、第 143 号 (7 月号、7 月 10 日刊)、第
144 号 (8 月号、8 月 10 日刊)、第 145 号 (9 月号、9 月 10 日刊)、第 146 号 (10 月号、
10 月 10 日刊)、第 147 号 (11 月号、11 月 10 日刊)、第 148 号 (12 月号、12 月 10 日刊)

*昭和 7 (1932) 年 第 14 卷 (要再調査)

・第 14 巻第 149 号 (昭和 7 年 1 月号、1 月 1 日刊)、第 150 号 (2 月号、2 月 10 日刊)、
第 151 号 (3 月号、3 月 10 日刊)、第 152 号 (4 月号、4 月 10 日刊)、第 153 号 (5 月号、
5 月 10 日刊)、第 154 号 (6 月号、6 月 10 日刊)、第 155 号 (7 月号、7 月 10 日刊)、第
156 号 (8 月号、8 月 10 日刊)、第 157 号 (9 月号、9 月 10 日刊)、第 158 号 (10 月号、
10 月 10 日刊)、第 159 号 (11 月号、11 月 10 日刊)、第 160 号 (12 月号、12 月 10 日刊)

*昭和 8 (1933) 年 第 15 卷 (要再調査)

・第 15 巻第 161 号 (昭和 8 年 1 月号、1 月 1 日刊)、第 162 号 (2 月号、2 月 10 日刊)、
第 163 号 (3 月号、3 月 10 日刊)、第 164 号 (4 月号、4 月 10 日刊)、第 165 号 (5 月号、
5 月 10 日刊)、第 166 号 (6 月号、6 月 10 日刊)、第 167 号 (7 月号、7 月 10 日刊)、第
168 号 (8 月号、8 月 10 日刊)、第 169 号 (9 月号、9 月 10 日刊)、第 170 号 (10 月号、
10 月 10 日刊)、第 171 号 (11 月号、12 月 10 日刊)、第 172 号 (12 月号、12 月 10 日刊)

*昭和 9 (1934) 年 第 16 卷 (要再調査)

・第 16 巻第 173 号 (昭和 9 年 1 月号、1 月 1 日刊)、第 174 号 (2 月号、2 月 10 日刊)、
第 175 号 (3 月号、3 月 10 日刊)、第 176 号 (4 月号、4 月 10 日刊)、第 177 号 (5 月号、

5月10日刊)、第178号(6月号、6月10日刊)、第179号(7月号、7月10日刊)、第180号(8月号、8月10日刊)、第181号(9月号、9月10日刊)、第182号(10月号、10月10日刊)、第183号(11月号、12月10日刊)、第184号(12月号、12月10日刊)

＊昭和10(1935)年 第17巻(要再調査)

・第17巻第185号(昭和10年1月号、1月1日刊)、第186号(2月号、2月10日刊)、第187号(3月号、3月10日刊)、第188号(4月号、4月10日刊)、第189号(5月号、5月10日刊)、第190号(6月号、6月10日刊)、第191号(7月号、7月10日刊)、第192号(8月号、8月10日刊)、第193号(9月号、9月10日刊)、第194号(10月号、10月10日刊)、第195号(11月号、12月10日刊)、第196号(12月号、12月10日刊)

＊昭和11(1936)年 第18巻(要再調査)

(参考) 富益義衛「最後の編輯を終りて」第205号(9月号、9月10日刊)142、143頁(自警会の組織改革により、『自警』主幹〈編輯兼発行人〉富益義衛退職)参照。

・第18巻第197号(昭和11年1月号、1月1日刊)、第198号(2月号、2月10日刊)、第199号(3月号、3月10日刊)、第200号(4月号、4月10日刊)、第201号(5月号、5月10日刊)、第202号(6月号、6月10日刊)、第203号(7月号、7月10日刊)、第204号(8月号、8月10日刊)、第205号(9月号、9月10日刊)、第206号(10月号、10月10日刊)、第207号(11月号、12月10日刊)、第208号(12月号、12月10日刊)

＊昭和12(1937)年 第19巻(要再調査)

(参考1) 昭和12(1937)年1月号(第19巻第1号)より、号数の表示方法に変更あり(1～12月号を第1～12号とし、かつ、別に、通巻表示をする。)

(参考2) 昭和12(1937)年7月号より発行日繰上げ。

・第19巻第1号(通巻第209号、昭和12年新年号、1月1日刊)、第2号(通巻第210号、2月号、2月10日刊)、第3号(通巻第211号、3月号、3月10日刊)、第4号(通巻第212号、4月号、4月10日刊)、第5号(通巻第213号、5月号、5月10日刊)、第6号(通巻第214号、6月号、6月10日刊)、第7号(通巻第215号、7月号、7月1日刊)、第8号(通巻第216号、8月号、8月1日刊)、第9号(通巻第217号、9月号、9月1日刊)、第10号(通巻第218号、10月号、10月1日刊)、第11号(通巻第219号、11月号、11月1日刊)、第12号(通巻第220号、12月号、12月1日刊)

＊昭和13(1938)年 第20巻(要再調査)

(参考-1)

・神山和市(主計係長)「自警会事業の概要」『自警』第20巻第1号(昭和13年1月1日刊)128～140頁(128頁:「1、『自警』雑誌発行の動機」)参照。

(参考-2)(平成27年6月7日追加)

- ・『自警』第20巻第8号 創刊二十年記念、昭和13年8月1日刊)
- ・岩上夫美雄（警務部長）「『自警』創刊二十年に際して」2～3頁
- ・岡喜七郎（貴族院議員・元警視總監、1868～1947）「『自警』創刊二十年を記念して一祝辞に代ゆる・日本初期自動車に就ての面白い話」4～7頁
- ・一記者「二十年の歩み 躍進日本の展望」57～65頁
- ・芥川二郎（統計係長）「統計から観た本誌創刊当時の警視庁」66～67頁
- ・やなぎ生「創刊以来現在まで廿年間の自警要覧」68～71頁
- ・渡部源治（自警会主事、編集兼発行人）「本誌創刊当時と現在の状況」138～139頁

・第20巻第1号（通巻第221号、昭和13年新年号、1月1日刊）、第2号（通巻第222号、2月号、2月1日刊）、第3号（通巻第223号、3月号、3月1日刊）、第4号（通巻第224号、4月号、4月1日刊）、第5号（通巻第225号、5月号、5月1日刊）、第6号（通巻第226号、6月号、6月1日刊）、第7号（通巻第227号、7月号、7月1日刊）、第8号（通巻第228号、創刊二十年記念、8月号、8月1日刊）、第9号（通巻第229号、9月号、9月1日刊）、第10号（通巻第230号、10月号、10月1日刊）、第11号（通巻第231号、11月号、11月1日刊）、第12号（通巻第232号、12月号、12月1日刊）

＊昭和14（1939）年 第21巻（要再調査）

・第21巻第1号（通巻第233号、昭和14年1月号、1月1日刊）、第2号（通巻第234号、2月号、2月1日刊）、第3号（通巻第235号、3月号、3月1日刊）、第4号（通巻第236号、4月号、4月1日刊）、第5号（通巻第237号、5月号、5月1日刊）、第6号（通巻第238号、6月号、6月1日刊）、第7号（通巻第239号、7月号、7月1日刊）、第8号（通巻第240号、8月号、8月1日刊）、第9号（通巻第241号、9月号、9月1日刊）、第10号（通巻第242号、10月号、10月1日刊）、第11号（通巻第243号、11月号、11月1日刊）、第12号（通巻第244号、12月号、12月1日刊）

＊昭和15（1940）年 第22巻（要再調査）

・第22巻第1号（通巻第245号、昭和15年1月号、1月1日刊）、第2号（通巻第246号、2月号、2月1日刊）、第3号（通巻第247号、3月号、3月1日刊）、第4号（通巻第248号、4月号、4月1日刊）、第5号（通巻第249号、5月号、5月1日刊）、第6号（通巻第250号、6月号、6月1日刊）、第7号（通巻第251号、7月号、7月1日刊）、第8号（通巻第252号、8月号、8月1日刊）、第9号（通巻第253号、9月号、9月1日刊）、第10号（通巻第254号、10月号、10月1日刊）、第11号（通巻第255号、11月号、11月1日刊）、第12号（通巻第256号、12月号、12月1日刊）

＊昭和16（1941）年 第23巻（要再調査）

・第23巻第1号（通巻第257号、昭和16年1月号、1月1日刊）、第2号（通巻第258号、2月号、2月1日刊）、第3号（通巻第259号、3月号、3月1日刊）、第4号（通巻第260号、4月号、4月1日刊）、第5号（通巻第261号、5月号、5月1日刊）、第6号

(通巻第 262 号、6 月号、6 月 1 日刊)、第 7 号 (通巻第 263 号、7 月号、7 月 1 日刊)、第 8 号 (通巻第 264 号、8 月号、8 月 1 日刊)、第 9 号 (通巻第 265 号、9 月号、9 月 1 日刊)、第 10 号 (通巻第 266 号、10 月号、10 月 1 日刊)、第 11 号 (通巻第 267 号、11 月号、11 月 1 日刊)、第 12 号 (通巻第 268 号、12 月号、12 月 1 日刊)

＊昭和 17 (1942) 年 第 24 卷 (要再調査)

(参考) 第 24 巻第 3 号以下は、目次、奥付に通巻表示なしのため、通巻については未確認。

・第 24 巻第 1 号 (通巻第 269 号、昭和 17 年 1 月号、1 月 1 日刊)、第 2 号 (通巻第 270 号、2 月号、2 月 1 日刊)、第 3 号 (通巻第 271 号、3 月号、3 月 1 日刊)、第 4 号 (通巻第 272 号、4 月号、4 月 1 日刊)、第 5 号 (通巻第 273 号、5 月号、5 月 1 日刊)、第 6 号 (通巻第 274 号、6 月号、6 月 1 日刊)、第 7 号 (通巻第 275 号、7 月号、7 月 1 日刊)、第 8 号 (通巻第 276 号、8 月号、8 月 1 日刊)、第 9 号 (通巻第 277 号、9 月号、9 月 1 日刊)、第 10 号 (通巻第 278 号、10 月号、10 月 1 日刊)、第 11 号 (通巻第 279 号、11 月号、11 月 1 日刊)、第 12 号 (通巻第 280 号、12 月号、12 月 1 日刊)

＊昭和 18 (1943) 年 第 25 巻 (要再調査)

(参考 1) 『自警』第 25 巻第 6 号 (6・7 月合併号) (昭和 18 年 7 月 1 日刊) 巻末に、「編輯後記: …□従来印刷所の手不足で遅れてゐた発行日を取戻すべく、非常手段として、六月号を七月号に合併して発行することにした。事情御諒恕ありたい。…(紅夢生)」とある。「紅夢生」とは、編集者中山紅夢のこと。中山につき、本 HP 別稿「植木鬼仏とは誰ぞ—警察川柳史検討—昭和戦前期警察史の一齣—」参照。

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/ueki001.pdf>〉(このみ平成 26 年 6 月 22 日追加)

(参考 2) 自警会主事渡部源治 (かつて赤坂表町警察署長の経歴もありとの由。)[「自警会支部長各位にお願い—本誌の為に御寄稿あらんことを—」『自警』第 25 巻第 6 号 (6・7 月合併号) (昭和 18 年 7 月 1 日刊) 17 頁 (当該時点での「発行部数二万八千五百余部」、「帝都に於ける警察消防職員の機関誌」) 参照。

(参考 3) 目次、奥付に通巻表示なしのため、通巻については未確認。

・第 25 巻第 1 号 (通巻第 281 号、昭和 18 年 1 月号、1 月 1 日刊)、第 2 号 (通巻第 282 号、2 月号、2 月 1 日刊)、第 3 号 (通巻第 283 号、3 月号、3 月 1 日刊)、第 4 号 (通巻第 284 号、4 月号、4 月 1 日刊)、第 5 号 (通巻第 285 号、5 月号、5 月 1 日刊)、第 6 号 (通巻第 286 号、6・月合併号、7 月 1 日刊)、第 7 号 (通巻第 287 号、8 月号、8 月 1 日刊)、第 8 号 (通巻第 288 号、9 月号、9 月 1 日刊)、第 9 号 (通巻第 289 号、10 月号、10 月 1 日刊)、第 10 号 (通巻第 290 号、11 月号、11 月 1 日刊)、第 11 号 (通巻第 291 号、12 月号、12 月 1 日刊。昭和 18 年最終号)

＊昭和 19（1944）年 第 26 卷（未調査）

（参考）早稲田大学図書館 OPAC に、「……、26（5-6）<1920-1944>」の所蔵表示があることから、昭和 19（1944）年に、少なくとも第 26 巻第 6 号までは刊行されていることが判明する（ただし、現物未見。）。

〈http://wine.wul.waseda.ac.jp/search*jpn/t〉

＊昭和 20（1945）年 1 月～昭和 20（1945）年 8 月 第 27 巻（未調査、下記参照。）

【参考】『自警』発行表（戦後期）（平成 22 年 4 月 24 日追加）

『自警』（戦後期）

＊昭和 20（1945）年 第 27 巻（推測、未調査）

＊昭和 21（1946）年 第 28 巻（推測、未調査）

＊昭和 22（1947）年 第 29 巻（未調査、下記国立国会図書館所蔵本参照。）

『自警』発行表（戦後期）（国立国会図書館所蔵分）

（国立国会図書館所蔵情報）

所蔵事項 第 1 巻第 1 号（大正 8 年 8 月）～第 80 巻第 5 号（平成 10 年 5 月）

欠号情報 第 1 巻第 2 号（大正 8 年 9 月）～第 28 巻（昭和 21 年）、第 31 巻第 5 号（昭和 24 年 5 月）～第 32 巻第 6、10～12 号（昭和 25 年 6、10～12 月）、第 33 巻第 4～6、10～12 号（昭和 26 年 4～6、10～12 月）、第 41 巻第 4、8、11 号（昭和 34 年 4、8、11 月）

番号 巻号年月等（第 29 巻～第 80 巻第 5 号分。うち、第 29 巻～第 38 巻、第 48 巻第 1～4 号、第 77 号～第 80 巻第 5 号分は、現時点で製本巻請求可能との意味）

1 29（1）-29（12） 19470100-19471200（昭和 22 年）

2 30（1）-30（12） 19480100-19481200（昭和 23 年）

3 31（1）-31（12） 19490100-19491200（昭和 24 年）

4 32（1）-32（12） 19500100-19501200（昭和 25 年）

5 33（1）-33（12） 19510100-19511200（昭和 26 年）

6 34（1）-34（6） 19520100-19520600（昭和 27 年）

7 34（7）-34（12） 19520700-19521200（昭和 27 年）

8 35（1）-35（6） 19530100-19530600（昭和 28 年）

9 35（7）-35（9） 19530700-19530900（昭和 28 年）

10 35（10）-35（12） 19531000-19531200（昭和 28 年）

11 36（1）-36（4） 19540100-19540400（昭和 29 年）

12 36（5）-36（8） 19540500-19540800（昭和 29 年）

13 37（1）-37（3） 19550100-19550300（昭和 29 年）

14 37 (4) -37 (6) 19550400-19550600 (昭和 30 年)
15 37 (7) -37 (9) 19550700-19550900 (昭和 30 年)
16 37 (10) -37 (12) 19551000-19551200 (昭和 30 年)
17 38 (1) -38 (3) 19560100-19560300 (昭和 31 年)
18 38 (4) -38 (6) 19560400-19560600 (昭和 31 年)
19 38 (7) -38 (9) 19560700-19560900 (昭和 31 年)
20 38 (10) -38 (12) 19561000-19561200 (昭和 31 年)
21 39 (1) -47 (12) 19571000-19651200 (昭和 32~40 年)
22 48 (1) -48 (4) 19660100-19660400 (昭和 41 年)
23 49 (1) -76 (12) 19670100-19941200 (昭和 42~平成 6 年)
19 77 (1) -77 (6) 19950100-19950600 (平成 7 年)
24 77 (7) -77 (12) 19950700-19951200 (平成 7 年)
25 78 (1) -78 (6) 19960100-19960600 (平成 8 年)
26 78 (7) -78 (12) 19960700-19961200 (平成 8 年)
27 79 (1) -79 (6) 19970100-19970600 (平成 9 年)
28 79 (7) -79 (12) 19970700-19971200 (平成 9 年)
29 80 (1) -80 (5) 19980100-19980500 (平成 10 年)

(以降は国立国会図書館未所蔵)

2 参考資料

(1) 国立国会図書館検索 <<http://www.ndl.go.jp/>>

請求記号 Z2-224

タイトル 自警

責任表示 警視庁警務部教養課編

出版事項 自警会 1919-

形態 ;26cm

所蔵事項 1 巻 1 号 (大正 8 年 8 月) ~80 巻 5 号 (平成 10 年 5 月)

欠号情報 1 巻 2 号~28 巻、31 巻 5 号~32 巻 6、10~12 号、33 巻 4~6、10~12 号、41 巻 4、8、11 号

(2) CiNii 検索 <<http://ci.nii.ac.jp/books/>> (平成 26 年 6 月 22 日修正)

(旧 nacsis webcat 検索 <<http://webcat.nii.ac.jp/cgi-bin/krkproc>>)

自警<ジケイ>. -- (AN10099919)

1 巻 1 号 (大 8.8) -. -- 東京 : 警視廳自警會雜誌部、 1919-

注記: 出版地・出版者は 1 巻 2 号による

所蔵図書館 17

(3) 早稲田大学図書館検索 <http://wine.wul.waseda.ac.jp/search*jpn/t>

タイトル 自警 ジケイ jikei

出版事項 東京：警視廳自警會雑誌部、1919-

トウキョウ：ケイシチョウジケイカイザッシブ

tokyo：keishichojikeikaizasshibu

配架場所 中央 3F 雑誌（貴重書ブロック）

請求記号 サワ 0402

図書館所蔵（例：2（13-14、16）⇒第2巻第13-14号、第16号）

2（13-14、16）、3（21-22、26、29）、4（30-33、35-41）、6（59-60、62-64）、7（65、67-70、73-75）、8（77-78）、14（150-151、153-158、160）、15（161-163、165-166、170-172）、16（175-176、181、183）、17（188-189、191-193）、18（198-201、205-208）、19（2-3、6-7、9-10、12）、20（1、5、7、9-10、12）、21（3、8-12）、22（3、6-7、9-12）、23（2、6、9、12）、24（2、4、6-7、10）、25（1-3、6、8-10）、26（5-6）<1920-1944>

(4) 一般財団法人自警会

<<http://www.koueki.jp/disclosure/sa/jikeikai/index.htm>>

<<https://koueki.jp/d/list/sa-jikeikai/>>（令和4（2022）年8月15日追加）

(5) 『警察協会雑誌』（平成26年6月22日追加等）

<<http://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keikyozasshi.pdf>>

平成25（2013）年12月に、警察政策学会警察史研究部会・公益財団法人警察協会編『警察協会雑誌目次集＝警察政策百年の論述＝』（警察政策学会資料・別刷、警察政策学会・公益財団法人警察協会、平成25年12月刊）が刊行された。また、別に公益財団法人警察協会 HP <<http://www.keisatukyokai.or.jp/>> に HP 用「目次集」がアップされた⇒<<http://www.keisatukyokai.or.jp/index.php?id=145>>。

次いで、平成26（2014）年1月21日（火）より「図書館向けデジタル化資料送信サービス」（図書館送信）が開始され、この結果『警察協会雑誌』のデジタル化資料（第1号～第520号）も最寄りの公共図書館等（国立国会図書館の承認を受けた図書館に限る。）で利用できるようになった。

<http://www.ndl.go.jp/jp/library/service_digi/>（平成26年6月11日追加）

更に、令和4（2022）年5月19日（木）より、国立国会図書館個人向けデジタル化資料送信サービス（個人送信）開始。（令和4（2022）年8月14日追加）

<http://www.ndl.go.jp/jp/library/service_digi/>

【附録】明治警察史コーナーHP 項目一覧（抄）（令和 4（2022）年 8 月 16 日追加）

- ・「法制史学者著作目録選」中「明治警察史コーナー」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Historian2003.htm>〉
- ・「松井茂久『警官陶冶篇』研究史抄一本 HP 収載「PDF 版松井茂久『警官陶冶篇』」検討資料」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/matsui002.pdf>〉
- ・「PDF 版松井茂久『警官陶冶篇』（増訂三版、明治 25（1892）年 2 月 18 日刊）」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/matsui001.pdf>〉
- ・「大森鍾一『直興遺篋抄』—「長男仕官に就き与へたる訓戒の書」—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/omori001.pdf>〉
- ・「川路大警視青山墓前の頌徳碑検討一斑（碑文全文、付句読点文、書下し文）—故陸軍少将兼大警視正五位勲二等川路君墓表編修副長官従五位重野安繹撰— 明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kawaji002.pdf>〉
- ・「佐和正関係文献抄—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sawatadashi.pdf>〉
- ・「坂元純瀨、國分友諒両氏の墓所について—中原英典氏のお問いかけを追って—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sakamoto001.pdf>〉
- ・「国分友諒顕彰碑について—原田弘先生のお教えに接して—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kokubukenshoji.pdf>〉
- ・「篠崎五郎関係資料抄—台湾出兵時の徴集隊指揮副長の一人— 明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shinozaki.pdf>〉
- ・「後藤松吉郎とは誰ぞ—明治警察史・日本統治下台湾警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/goto001.pdf>〉
- ・「裁判医学校乃至警視医学校関係文献一斑—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/saiban001.pdf>〉
- ・「『無冤録述』検討一斑—江戸期及び明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/muenrokujutsu.pdf>〉
- ・「続・『無冤録述』の初歩的検討—江戸期及び明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/muenrokujutsuzoku.pdf>〉
- ・「ヘーン大尉関係文献抄（再訂稿）」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/hoen001.pdf>〉
- ・「明治中葉警官練習所訳官久松定弘等及び筆記者井土経重（霊山）検討一斑—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/yakkan.pdf>〉
- ・「岩瀬忠震関係文献抄—向島・ヘーン大尉表功碑探訪余聞—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/iwase001.pdf>〉

- ・「内務省警視局御用御書物師須原鉄二とは誰ぞ—明治警察史の一齣—」
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/subara.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/subara.pdf)
- ・「清水書店とは何ぞや—須原鉄二との関連で—明治・大正警察史の一齣—」
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shimizushoten.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shimizushoten.pdf)
- ・「須原鉄二と清水書店創業者葉多野太兵衛について—明治・大正期出版業史の一齣—」
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/hatano001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/hatano001.pdf)
- ・「警察監獄学会及び『警察監獄学会雑誌』検討一斑—明治警察史の一齣—」
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kangokugakkai.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kangokugakkai.pdf)
- ・「警眼社社主田山宗堯とは誰ぞ—『警察協会雑誌』との関連をめぐって— 明治警察史の一齣—」
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tayama.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tayama.pdf)
- ・「松華堂乃至松華堂書店とは何ぞや—明治警察史の一齣—」
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shokado.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shokado.pdf)
- ・「高橋雄豺博士著作目録（再訂稿）」
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/takahashi001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/takahashi001.pdf)
- ・「田村豊氏著作目録」
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tamura001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tamura001.pdf)
- ・「有光金兵衛とは誰ぞ—「田村豊氏著作目録」補遺—」
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/arimitsu.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/arimitsu.pdf)
- ・「中原英典氏明治警察史研究関係著作目録抄（参考）渡辺忠威氏警察史関係文献抄」
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakahara001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakahara001.pdf)
- ・「小林光政氏とは誰ぞ—大正・昭和戦前期警察史の一齣—」
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kobayashimitsumasa.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kobayashimitsumasa.pdf)
- ・「内務省警保局の主 芽城鈴木千次とは誰ぞ—明治警察史の一齣—」
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/suzukisenji.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/suzukisenji.pdf)
- ・「種村一男氏関係資料抄—昭和戦前期警察史の一齣—」
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tanemura.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tanemura.pdf)
- ・「『警察協会雑誌』発行表」
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keikyozasshi.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keikyozasshi.pdf)
- ・「頑鉄後藤狂夫とは誰ぞ—『警察協会雑誌』検討の一として—」
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/gantetsu.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/gantetsu.pdf)
- ・「植木鬼仏とは誰ぞ—警察川柳史検討— 昭和戦前期警察史の一齣—」
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/ueki001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/ueki001.pdf)
- ・「北京等駐在内務事務官検討一斑—昭和十年代警察講習所学友会北京支部資料等— 昭和戦前期警察史の一齣—」
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/beijin001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/beijin001.pdf)
- ・「警察雑誌検討一斑—戦前期警察史の一齣—」
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keisatsuzasshi.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keisatsuzasshi.pdf)

- ・『大霞』発行表
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/taika.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/taika.pdf)
- ・『自警』発行表（戦前期）」（本稿）
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/jikei001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/jikei001.pdf)
- ・『警察春秋』とは何ぞ—大正・昭和戦前期警察史の一齣—
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keisatsushunjuu.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keisatsushunjuu.pdf)
- ・『警務彙報』（財朝鮮警察協会刊）発行表
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keimuihou.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keimuihou.pdf)
- ・『法制時報』とは何ぞ—法制時報社、南郊社社長小池則之とは誰ぞ—
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/houseijihou.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/houseijihou.pdf)
- ・「奈良光枝関係資料抄—明本京静との関連で——昭和警察歌史、歌謡史の一齣—」
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nara001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nara001.pdf)
- ・「楠木繁夫歌「女の階級」及び上原敏関係資料抄—昭和歌謡史の一齣—」
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kusunoki.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kusunoki.pdf)

【関連事項】（令和 4 年 8 月 16 日追加）

- ・法制史学会： [〈https://www.jalha.org/〉](https://www.jalha.org/)
- ・国立国会図書館： [〈https://www.ndl.go.jp/〉](https://www.ndl.go.jp/)
- ・国立国会図書館デジタルコレクション [〈https://dl.ndl.go.jp/〉](https://dl.ndl.go.jp/)
- ・国立国会図書館個人向けデジタル化資料送信サービス（個人送信）（令和 4（2022）年 5 月 19 日開始）
[〈https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/individuals_index.html〉](https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/individuals_index.html)
- ・国立国会図書館次世代デジタルライブラリー
[〈https://lab.ndl.go.jp/service/tsugidigi/〉](https://lab.ndl.go.jp/service/tsugidigi/)
- ・CiNii: [〈https://ci.nii.ac.jp/〉](https://ci.nii.ac.jp/) ⇒ [〈https://cir.nii.ac.jp/〉](https://cir.nii.ac.jp/)（【[2022] 4/18 更新】CiNii Articles の CiNii Research への統合について）、[〈https://ci.nii.ac.jp/books/〉](https://ci.nii.ac.jp/books/)

（了）